

(様式2)

3. 施設整備計画の目標

(1) 公立の義務教育諸学校等施設の老朽化対策を図る整備

(2) 地震、津波等の災害に備えるための整備

県営ライフル射撃場50m射場において、昭和47年の竣工から40年以上が経過しており老朽化が著しく、平成28年度に耐震診断を実施したところ耐震基準を満たしておらず、地震時に建物が倒壊する可能性が高いと判断された。

同施設は平成33年の三重とこわか国体において、ライフル射撃競技の会場となるため、建物の耐震化が急がれる。そのため、平成29年度に実施する改修工事と併せて、50m射場建屋の耐震補強工事を実施する。

(3) 防犯対策など安全性の確保を図る整備

(4) 教育環境の質的な向上を図る整備

(5) 施設の特性に配慮した教育環境の充実を図る整備

4. 域内の義務教育諸学校等施設の整備状況

(1) 現在の学校等の整備状況

学校等		学校等
小学校		一 校
中学校		一 校
義務教育学校		一 校
中等教育学校(前期課程)		一 校
特別支援学校(小学部及び中学部)		一 校
幼稚園等(特別支援学校の幼稚部を含む)		一 園
幼保連携型認定こども園		一 園
高等学校等(特別支援学校の高等部及び中等教育学校の後期課程を含む)		一 校
教員及び職員のための住宅		一 戸
学校給食施設	単独校調理場	一 箇所
	共同調理場	一 箇所
スポーツ施設	学校水泳プール	一 箇所
	学校武道場	一 箇所
	社会体育施設	1 箇所

(2) 整備に関する計画の策定状況

計画名	策定の有無	策定年月日
個別施設計画 ^{※1}	無し	未定
国土強靭化地域計画 ^{※2}	無し	未定

※1 インフラ長寿命化基本計画(平成25年11月29日閣議決定)に基づく、個別施設毎の長寿命化計画

※2 強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靭化基本法(平成25年法律第95号)

5. 施設整備計画の目標の達成状況に係る評価に関する事項

本計画の初年度に、目標の達成状況を評価するための指標を検討する。計画期間終了後、指標に基づく評価を実施し、評価結果は県のホームページ等で公表する。

(様式3)

6. 施設整備計画の目標を達成するために必要な改築等事業に関する事項(学校ごと)

学校等の名称	目標	事業区分	整備方針				事業全体の整備面積等 【負担金事業を含む】		事業全体の概算工事費 【負担金事業を含む】		事業実施 年度 (予定)	備考
			事業単位	建物 区分	構造 区分	全事業期間 (契約～完成)	(m ² 、箇所 等)	うち、 補助対象 面積等	(千円)	うち、対象内 実工事費 (千円)		
県営ライフル射撃場	(2)	28	社会体育施設耐震化	S	H28.6～H29.11		504	504	48,678	48,678	平成29年度	改修前Is=0.11q=0.456、改修後Is=1.10q=1.102
計									48,678	48,678		